

日本プロ野球界の外野手特性

小林 恒介 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

担当教員 鳥羽 賢二

キーワード：特性, セイバーメトリクス

1. はじめに

筆者は、幼少期の頃から野球を実践してきた。その中で外野手をこなしたが、その際どのような特性がそのポジションの適正なのかが未解決のまま引退した。

そこで本研究は、NPBⁱセ・パリーグ全 12 球団の一軍で活躍する内・外野手を対象とし、2013 年度の戦績を基に外野手特性を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

①文献調査：野球のデータに関する文献及び、セイバーメトリクスⁱⁱ関連の先行研究

②WEB 上での調査：NPB 選手 2013 年度の戦績

③セイバーメトリクスを利用し、各選手のデータを調べることにより、外野手としてトッププロで活躍している特性を検証する。

3. 戦績の分析と考察

検証結果から、外野手の特質すべき点として以下 2 点があげられる。

1 つ目に、外野手は Spdⁱⁱⁱ 数値を検証したところ、走力について特に高い数値が示された。全選手の平均値は、5.2 であるが、NPB 上位 10 名が全て外野手である。その数値は 6.0~8.0 となっており極めて高い。

2 つ目は、外野手は得点圏^{iv}にランナーがいる時の打率が高いという特性がある。表 1 に示したとおり、得点圏打率が 3 割以上の選手は 18 名いる。その内の 11 名が外野手となっている。なお、外野手特性として、長打力のある選手は少ない。

4. 結論

外野手の 80%が、Spd 数値 6.0 以上となっている。このことから外野手は、走塁能力が高いということがその基本的な要素であることがわかる。さらに、得点圏打率が 3 割以上のチャンスに強い選手であることが特性として挙げられ、このことは、集中力や精神力を求められるポジションであるということも検証された。

表 1 得点圏打率 3 割以上の外野手 (筆者作成)

選手名	チーム	得点圏打率
谷 佳知	巨人	0.500
俊介	阪神	0.444
比屋根 渉	ヤクルト	0.429
矢野 謙次	巨人	0.429
前田 智徳	広島	0.400
浅井 良	阪神	0.400
井手 正太郎	DeNA	0.368
上田 剛史	ヤクルト	0.350
金城 龍彦	DeNA	0.341
中東 直己	広島	0.333
赤松 真人	広島	0.333
廣瀬 純	広島	0.327
バレンティン	ヤクルト	0.323
松山 竜平	広島	0.317
高橋 由伸	巨人	0.308
和田 一浩	中日	0.303
亀井 善行	巨人	0.302
柴田 講平	阪神	0.300

引用・参考文献

平野祐一 (1987) 野球選手の体力的特性 他

ⁱ NPB とは、日本野球機構 (Nippon Professional Baseball Organization) の略である。

ⁱⁱ セイバーメトリクスとは、野球においてデータを統計学的見地から客観的に分析し、選手の評価や戦略を考える分析手法である。

ⁱⁱⁱ Spd とは、選手の走塁能力の高さ・足の速さをセイバーメトリクスにより数値化されたものである。
算出式: (盗塁成功率 + 盗塁企図 + 三塁打割合 + 得点割合) ÷ 4

^{iv} 得点圏とは、二塁及び三塁の総称である。